

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
43	B-07000104	男性	57歳	75 mg	アセトアミノフェン ベシル酸アムロジピン カンデサルタンシレキセチル メシル酸ドキサソシン 球形吸着炭 炭酸水素ナトリウム アロプリノール ファモチジン 沈降炭酸カルシウム シロスタゾール タゾバクタムナトリウム・ピペ ラシンナトリウム パニペネム・ベタミプロン ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	痙攣	死亡	発熱(39.4°C)、湿性咳嗽あり、インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル服用。5時間後の翌未明、けいれん発症。 [異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例 No.302 に同じ]
44	B-04027246	男性	58歳	150mg	総合感冒剤 セフジニル 葛根湯	中毒性表皮壊死 融解症	死亡	良性前立腺肥大症の患者。頭痛、関節痛、全身倦怠、発熱及び咽頭痛があり、受診したところ、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方(併用薬は左記のとおり)。発熱、咽頭痛が続き、2日後の午後には咽頭痛が強くなった。頸部に紅斑が表れ、入院した。中毒性表皮壊死症が発現し、次の日以降、全身に紅斑が拡大し、びらん・水疱になったため、皮膚科で3日間ステロイドパルスを実施した。その2日後、ショック状態となり、呼吸不全となった。入院10日目、治療に反応せず死亡。
45	B-07000271	男性	59歳	75 mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	心肺停止	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B01-529	男性	62歳	150mg	アトルバスタチンカルシウム水和物 セフボドキシムプロキセチル ロキソプロフェンナトリウム 総合感冒剤 アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	多臓器不全	死亡	約35年前にクローン病の手術を施行。高脂血症の患者。インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方(併用薬は左記のとおり)。その日の深夜、救急で搬送、病院に到着と同時に心肺停止。多臓器不全で死亡。
47	B02-1096	男性	63歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セフォペラゾン	呼吸困難	死亡	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用開始後、4日目の午後になっても解熱せず、塩酸セフォソランを服用。次の日、解熱し、自覚症状(悪寒、間接痛)も改善。その次の日の朝、呼吸困難が発現し、救急車で心・呼吸が停止。病院にて蘇生したが、その日の午後、多臓器不全で死亡。
48	B-04025726	男性	64歳	150 mg	クロルプロマジン・プロメタジン配合剤(2) プロペリシアジン フルニトラゼパム センノシド マレイン酸レボメプロマジン プロペリシアジン 塩酸モサブラミン 塩酸ビペリデン 塩酸トリヘキシフェニジル ハロペリドール ゾテピン	心肺停止	死亡	B型肝炎の既往歴あり。統合失調症で入院治療中。第一度房室ブロックを合併。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目の夕食後、本剤を服用してから呼吸状態が異常になり、続いて呼吸停止、心臓停止。約2時間後、心肺停止で死亡。
49	B-06025523	女性	66歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル 臭化水素酸デキストロメトルファン メシル酸ドキサソシン カンデサルタンシレキセチル	劇症肝炎 アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	死亡 死亡	インフルエンザA型に対し、リン酸オセルタミビルの服用を開始。リン酸オセルタミビルの服用が終了してから7日後に肝機能障害(ALT上昇)発現。17日後に患者死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
50	B-04000136	男性	68歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル レバミピド	ショック	死亡	胃癌の既往歴があり、10年前に胃全摘出術及び脾摘出術を施行。インフルエンザが疑われ、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方(併用薬は左記のとおり)。次の日の朝、全身状態が悪化(血圧70、ショック状態)してICUに入室。入室3日目も改善傾向が見られず、その次の日、感染性ショック及び多臓器不全で死亡。剖検の結果、両側腸腰筋肉出血が確認。咽頭スワブ検体による溶連菌抗原検査結果は陽性であるが、皮膚所見に乏しく血液培養の結果は陰性。
51	B-07000407	女性	68歳	150 mg	塩酸テクロピジン リセドロン酸ナトリウム水和物 メナテレノン タルチレリン水和物	心肺停止 急性呼吸不全	死亡 死亡	既往に脊髄小脳変性、心室性期外収縮、上室性期外収縮、中脳、橋の萎縮とラクナ梗塞あり。 インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕方、湿潤咳嗽、倦怠感、上肢振戦あり。夕食後、本剤2回目服用。 服用4時間30分後、いびき様呼吸あり。 本剤投与翌未明、湿性咳嗽あり、呂津困難あるもコミュニケーション良好。喀痰あるが特に状態の変化なし。その2時間後、心停止、呼吸停止。
52	B-07000599	女性	68歳	75 mg	プレドニゾン 人免疫グロブリン	白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	発熱が持続しており、インフルエンザA型と診断され、夕方からリン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、朝から低酸素血症、低血圧が出現。CTにて右上葉以外に肺炎像、両側胸水貯留あり。抗生物質に変更し、シベスタットナトリウム水和物投与開始。急激な白血球減少あり。βDグルカン陰性、尿中レジオネラ抗原も陰性。後日、血中アスペルギルス抗原陽性が判明。喀痰からMRSAが検出。 服用開始2日目、呼吸不全進行し、ショック状態となり気管内挿管、人工呼吸管理。ショックから離脱できず心マッサージなど必要となり、家族立会いのもとで蘇生中止し、死亡。
53	B-05024749	男性	71歳	75mg	ベシル酸アムロジピン 硝酸イソソルビド シロスタゾール エパルレスタット トリアゾラム	播種性血管内凝固 多臓器不全 劇症肝炎	死亡	狭心症、高血圧、緑内障、糖尿病、慢性気管支炎及び心房細動の患者。発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用2日目、呼吸困難のため、入院。食欲低下、下痢、腹水を認め、肝機能が悪化。さらに腎機能も悪化し、播種性血管内凝固による多臓器不全と考えられ、輸血等が開始された。腹膜透析を施行するが、入院5日目、呼吸停止、死亡。なお、本剤のリンパ球刺激試験(DLST)の結果は陽性であった。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
54	B-05001264	男性	72歳	75mg	ジクロフェナクナトリウム ナフトピジル	突然死	死亡	破傷風(その後遺症による下肢変形、下肢麻痺)の既往歴あり。前立腺肥大症の患者。朝、発熱があり、ジクロフェナクナトリウム座剤を投与。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル75mgを昼すぎに服用(併用薬は左記のとおり)。その2時間半後、解熱したが、夕方、心肺停止状態で発見。回復せず、死亡。
55	B01-2125	男性	73歳	150mg	クラリスロマイシン 塩酸アンブロキソール 塩酸チアラミド トロキシピド ロサルタンカリウム フロセミド プレドニゾン 硝酸イソソルビド ツロブテロール ファモチジン プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン	急性肝障害 急性腎不全	死亡	肺結核(左上葉切除)、虫垂炎及び気管支ぜん息の既往歴あり。喘息重積発作にて入院。低酸素血症による肝障害、高尿酸血症を併発。約3ヶ月後退院し、その4日後にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用終了後4日目に、肝機能異常、腎機能異常等が認められ、入院。その翌日、急性腎不全となり、血漿交換、透析を開始。リン酸オセルタミビルの服用終了から約2週間後、肝不全及び腎不全で死亡。
56	B-04001536	男性	74歳	150mg	アルファカルシドール レボチロキシンナトリウム 酸化マグネシウム ダイオウエキス ポリカルボフィルカルシウム ラクトミン アルジオキサ ビオチンアスターゼ2000配合剤 ファモチジン オクトチアミン・B2・B6・B12配合剤 電解質輸液 生理食塩液 ロキソプロフェンナトリウム、 テブレノン	白血球減少症	死亡	統合失調症、慢性膵炎、慢性糸球体腎炎、糖尿病、胃炎及び甲状腺機能低下症のため、入院治療中。インフルエンザが疑われ、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬は左記のとおり)。次の日の夜、状態急変。その翌日の朝、白血球減少症、肺炎等が確認され、その後、呼吸困難を発現。さらに次の日、重症肺炎で死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
57	B-04025470	男性	75歳	150mg	クラリスロマイシン 桜皮エキス・リン酸コデイン 塩酸ブロムヘキシ ン 鎮咳配合剤 アセトアミノフェン 硫酸イソプロテレノール・臭 化メチルアトロピン配合剤 電解質輸液 リン酸ヒドロコルチゾンナトリ ウム 硫酸セフピロム	劇症肝炎	死亡	インフルエンザ及び気管支肺炎と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。その5日後、救急で搬送され、劇症肝炎と診断。約3週間後、劇症肝炎及び出血で死亡。
58	B03-4121	男性	77歳	150mg	セフトリアキソンナトリウム クラリスロマイシン テオフィリン モンテルカストナトリウム ツロプテロール スルバクタムナトリウム・セ フォペラゾンナトリウム 塩酸ミノサイクリン コハク酸メチルプレドニゾン ナトリウム フロセミド	多臓器不全	死亡	肺結核の既往歴あり。境界型糖尿病の患者。インフルエンザ陰性と診断されたが、次の日、症状改善なく、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方(その後の経過を含め、併用薬は左記のとおり)。翌日、脱力感があり、体が動かなくなって、入院。肺炎が疑われ、抗生物質の投与を受けるが、症状が増悪。その次の日、急性肺炎で死亡。
59	B-05023782	女性	82歳	75mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	アナフィラキシー ショック	死亡	慢性心不全の患者。発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル75 mgを服用(併用薬は左記のとおり)。本剤服用直後にアナフィラキシーショックを発現し、約1時間後、病院に搬送されたが、死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
60	B-04006094	女性	83歳	150mg	セフトレキシム セフトラゾールナトリウム ハロペリドール 塩酸プロパフェノン スピロラクソン フロセミド 塩酸エベリゾン エチゾラム ゾピクロン 酸化マグネシウム センノシド ジゴキシン ファモチジン 酪酸菌製剤	肝障害	死亡	完全房室ブロックの既往歴あり。肺炎及び心不全のため、入院治療中。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日の服用を開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目、血圧低下及び肝機能障害が発現したため、朝リン酸オセルタミビル75mgを服用後、服用を中止。次の日、呼吸不全及び肝不全で死亡。剖検の結果、うっ血性心不全及び中心静脈域のうっ血を伴う壊死を確認。
61	B-06024995	女性	83歳	150mg	アセトアミノフェン グリベンクラミド エパルレスタット 塩酸テラゾシン プラバスタチンナトリウム クエン酸モサプリド クロチアゼパム パンテチン メコバラミン	心肺停止	死亡	糖尿病、高脂血症治療中。咽頭痛、発熱(38.6℃)あり。インフルエンザA型と診断された。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビルを服用(何回服用したかは不明)。服用を開始してから3日後ジュースを飲ませた後に突然呼吸停止。
62	B-03006021	女性	84歳	150mg	セフトレキシム 小柴胡湯 葛根湯 総合感冒剤	肺線維症	死亡	脳梗塞の既往歴あり。アルツハイマーの患者。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日分処方(併用薬は左記のとおり)。その5日後、肺線維症を発症。死亡日時は不明。担当医の協力が得られず、その詳細は調査不能。
63	B-06003573	女性	84歳	150mg	桂枝湯 バルサルタン 麻黄湯	再生不良性貧血	死亡	心臓ペースメーカーが植え込まれた、本態性高血圧症の患者。発熱及び倦怠感があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。その後、インフルエンザは軽快・回復するが、再度38℃以上の発熱が認められ、汎血球減少が発現し、入院。その3ヶ月半後、死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
64	B-05026721	女性	86歳	150mg	ロサルタンカリウム フロセミド 塩酸ペプリジル インドメタシン ロキソプロフェンナトリウム ゾピクロン セファゾリンナトリウム リン酸クリンダマイシン メロペネム三水和物 ワルファリンカリウム ポリスチレンスルホン酸カルシウム	白血球減少症 無顆粒球症	死亡	心房細動、硬膜下血腫、大腿骨頸部骨折の既往歴あり。顔面皮膚悪性腫瘍、高血圧、不整脈で治療中。発熱、咳、感冒症状があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用前より白血球減少が発現。服用開始から2日後、白血球減少症に加えて無顆粒球症が発現し、人工呼吸管理となり、血圧維持困難となった。服用開始から4日後、重症肺炎、敗血症で死亡。
65	B-05002112	女性	87歳	150mg	ベシル酸アムロジピン フェニトインナトリウム 硝酸イソソルビド アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン ピペラシリンナトリウム	播種性血管内凝固	死亡	脳梗塞及びてんかんの患者。肺炎により入院中で、長期臥床状態。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。6日後に解熱したが、同時に皮下出血斑及び口腔内粘膜から出血。その3日後、播種性血管内凝固と診断。その5日後に死亡。
66	B-07000196	女性	87歳	75 mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。
67	B-03010095	男性	89歳	150mg	ベシル酸アムロジピン ロサルタンカリウム テブレノン	肝障害 肺障害 腎障害	軽快 軽快 死亡	高血圧、完全房室ブロック、慢性肝炎、胃炎、不眠症及び軽度の腎障害の患者。38°Cの発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用5日目、全身倦怠感が表れ入院した。肝臓・腎臓障害、低酸素血症、呼吸苦、及び全身浮腫が出現し、入院してから約3週間後、腎不全及び高窒素血症により死亡。

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
68	B-05003268	女性	91歳	150mg		白血球数減少 血小板数減少	死亡 死亡	高血圧及び胃炎の患者。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始。服用3日目、血小板数減少、白血球数減少が発現し、死亡。担当医の協力が得られず、その詳細は不明。
69	B-07000232	男性	93歳	150mg		アレルギー性胞隔炎	死亡	A型インフルエンザのため、本剤処方。投与3日目、食思不振となり、本剤投与中止。 投与中止5日目、アレルギー性肺臓炎(間質性肺炎)6発現。 投与中止6日目、呼吸困難増悪、発熱継続(38℃以上)。デカドロン4mg/日投与開始。 投与中止21日目、症状改善せず、呼吸不全にて死亡。
70	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センソド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。
71	B-05000882	女性	95歳	75mg	アミノフィリン 塩酸ブロムヘキシ ン 塩酸セフェピム リン酸デキサメタゾンナトリウム	突然死	死亡	甲状腺原発悪性リンパ腫術を6年前に施行。うっ血性心不全の患者。インフルエンザB型と診断され、その日の夕方、リン酸オセルタミビル75mgを服用し、入院(併用薬は左記のとおり)。翌日の朝、本剤75mgを服用し、夕方の回診時には、呼吸苦及び喘鳴が改善。約1時間後、再度の回診時、すでに呼吸が停止しており、死亡。